

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	8	事業名	ふるさと寄附金推進事業	担当部課	総務部財政課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営		決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	2 財政改革の推進		会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款一 項 一 目)	
	その他(関係計画、要綱等)	無		2-1-2 財産管理費	
	事業開始の背景、経緯等	平成20年度の税制改正に伴い、全国の自治体でふるさと寄附金の受入れが始まった。平成31年度から、返礼品の負担割合を3割程度の範囲内に抑えるなどの運用の厳格化が行われている。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ふるさと納税に係る寄附の募集、返礼品の発送業務などを行う。寄附金の使い道として、市の実施する「①ふるさとづくり事業」と、市と連携等に関する協定を結ぶ団体が実施する「②ふるさと応援活動支援事業」に対して寄附を集める。(①は寄附金を市の事業に充当、②は集まった寄附の半分を団体に補助金として交付)
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 主に市外在住の方
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市の独自財源を確保し、長久手市や市内団体の活動を支援してくれる人を増やす。

項目	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
			(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)
事業費(A)	千円	予算	100	100	271	503	765
		決算	136	454	1,001	2,645	
人件費(B)	千円	決算	4,583	4,833	4,769	4,518	
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	4,719	5,287	5,770	7,163	
事業対象の数(D) (R2年度は想定数)	件		14	41	58	237	240
対象あたりコスト(C/D)	千円		337	129	99	30	

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
			(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)
寄附金受入額	千円	目標	140	490	1,152	1,827	5,000
		実績	490	1,152	1,827	4,958	
(指標の設定根拠)			(数値目標の根拠)				
市の財源確保額の推移を表す指標として、ふるさと寄附金の受入額が最も分かりやすい指標であるため。			寄附金受入額の増加が目指すべき目標であるため、前年実績を上回ることを目標とした。				
(前年までと変更した場合はその理由)							

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 近年、日本介助犬協会への補助金を寄附金の使い道に加えたことで寄附金額が増加している。寄附者が、寄附金が社会貢献につながると思えるような使い道を検討していきたい。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 日本介助犬協会の事業支援を寄附金の使途に加えたことで、寄付額が急増した。今後も寄附金の使途に着目した寄附金募集を展開し、市などの事業に共感してもらうことで寄附につなげていきたい。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 返礼品が寄附を喚起する主要な要因の一つであるので、返礼品の拡充を図る。具体的には、観光交流協会を通じて、地域の企業と連携した返礼品の追加が行えるよう、令和2年度中に観光交流協会と協定を結ぶ。

事業を構成する事務事業①	事務事業①	ふるさと寄附金推進事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込	58	240	250	260	270	
			実績	237					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込						
			実績						
	(3)		見込						
			実績						
	<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	拡充
	①ふるさとづくり事業 79件 1,314,459円 ②ふるさと応援活動支援事業 158件 3,644,000円								

事業を構成する事務事業②	事務事業②								
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込						
			実績						
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込						
			実績						
	(3)		見込						
			実績						
	<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	

事業を構成する事務事業③	事務事業③								
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込						
			実績						
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込						
			実績						
	(3)		見込						
			実績						
	<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) ・返礼品について、令和2年度中に、観光交流協会と連携し、地域と連携したラインナップを追加していく。 ・ガバメントクラウドファンディングを活用し、社会貢献の度合いを強めた寄附を募る。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 令和2年度中に観光協会と連携して、協会員の提供する返礼品を追加する。 令和2年度中にガバメントクラウドファンディングの試行を行う。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見 ・行政改革指針に係る「財政改革の推進」を踏まえ、さらなるクラウドファンディングの活用を努めてください。
内部意見への回答	